

礼  
節



地域に根差して  
半世紀

感謝の歩み

**SAR**

株式会社 **サンエース**

社是

## 礼節

経営理念

礼節・感謝・信用を第一義にし、  
地域社会に密着した事業を行うことによって  
そこに住まう人たちの暮らしを  
豊かで幸せなものにします。

### contents

1	50周年を迎えて谷岡博
2	語り継ぐ8の言葉
6	サンエース50年の街づくり
18	回顧録
20	メッセージ
22	思い出のアルバム
28	[座談会]サンエースの未来への挑戦 (先鋭写真×谷岡社長)
32	部署紹介
34	年表
36	しなやかな太い軸をもって 谷岡倫常

# 50周年を迎えて



取締役会長  
谷岡 博

サンエースが50年間も続くことができたのは、地域の皆様という強い味方がいてくださったからです。意欲と情熱にあふれる人材にも恵まれました。

振り返れば、「楽しかった」の一言につきます。すべてが順調であったわけではありません。しかし、しんどい、つらいと感じたことはありませんでした。

地域の素晴らしきリーダーの方々からの貴重な教え、地主や株主の皆様の熱き応援、そしてお客様一人ひとりの笑顔が、サンエースを動かしてくださったのです。世の中の流れはIT化で、もちろんサンエースもそれに着いていかねばなりません。ただ、データを動かすだけでなく、社員も自ら地域の皆様のもとへと動き、対話力を発揮し、力と知恵と心を結集できるサンエースでありつづけられたらと願っています。

## 1

### 初心をずっと忘れない



サンエースのロゴマーク

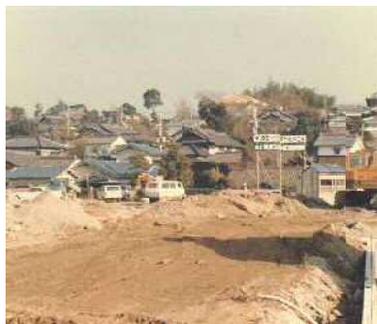
地元で宅地開発などを手掛ける企業に5年で独立したいことを伝え、再就職をしました。1年365日、日・祝・昼夜問わず仕事に没頭し、土木、建築、不動産の実践知識を学ぶことができました。

入社5年少し前に小規模（個人）レンタカー事業の買取の話があり、社長に相談したところ、「レンタカー、いい話やな。会社設立と同時に行えば」と本当にありがたい助言をいただき、念願の5年で会社を設立することができました。

なんとも懐の深い社長に出会ったものです（その後一生のお付き合いとなりました）。人と人の出会いに大いに感謝感激。その時の初心を忘れないため、サンエースのロゴにR（rent-a-car）を添えました。

## 2

### 地域に責任を持って



XXXX年 藤原地区開発計画

設立当初は、名もなく、資金もなく、信用もない。そこで、これから仕事をお願いすることになる工務店様をはじめ、各取引先様の方々に出資していただけるようお願いしました。一人一人、半年かけて熱く熱く将来を語り、お借りできた資金は合計約5000万円となり、土地の手付金とさせていただきます。

同時に、地域の名主の方々には、サンエースの株を持っていただきました。5000万円の出資者と株主には1度も欠かすことなく配当を続けています。

このご恩は決して忘れません。サンエースは地域の多くの方々に見守られ、協力いただきながら、地域の責任を全うすることで成長を遂げてきたのです。

## 3

### 地域で共に生きる



設立当初の建友会メンバー

サンエースの仕事は、工務店さんをはじめ、各設備の専門会社さんなど、多くの協力業者さんと共に成り立っています。サンエースと協力業者の組織力を生かすため「サンエース建友会」を設立しました。

建友会は食事会や飲み会の組織ではなく、勉強会です。「現場では夏の暑い日でも安全第一に考え、ヘルメットをかぶりましょう」「作業道具やコーヒー缶などはきちんと片付けましょう」など、施主様や地域の方々から寄せられた現場に対するお声をもとに、安全、整理整頓、マナーを徹底的に一緒に身につけていきました。現場での姿がそのままサンエースのイメージにつながります。こうしたことは非常に大切なのです。コツコツと積み上げた勉強が、素晴らしいシステムと大きな誇りにつながりました。そして地域で共に生きることができたのです。

## 4

### 必ず、仕事をつくる



〇〇〇部の打合せ

サンエース建友会の設立は、サンエースが協力業者さんをお願いする仕事を必ずつくと約束することでもあります。常に先頭に立ち、エネルギーに仕事をつくるため動かねばなりません。

また、地域の方々からお預かりしている大切な土地や資金を、将来にわたって無駄にせず生かしていく責任もあります。

サンエースがこれらを全うできているのは、提案力があるからです。一歩先を考える習慣、世の中や地域の情報にいち早く行動する組織、そして地域への熱い思いがあるからです。

これまで大型商業施設、土地区画整理事業、物流センターなど、多くの新しい事業を成功させてきました。今後も勇気と自信をもって、地域のために挑んでいきます。

5

## 地域密着で応え続ける



XXXX年 ○○○への慰安旅行

サンエースにご賛同いただき、いつもお世話になっている地主さんやお客様の会である「CHクラブ」を設立しました。言わばオーナークラブです。研修見学会は大好評で何か月も前から準備に精が入ります。セミナーなども行い、情報交換をする上でも重要な組織です。

サンエースは地域の縁の下での力持ちです。主役はあくまでも地域の皆様であり、多くの方々のお力が集結してこそ、大きな仕事を成し遂げることができています。

サンエースが実現している「地域密着」とは、地域の皆様に期待され、応援していただき、そしてそれにしっかりと応え続けることです。だからこそ、地域にお住まいの皆様もサンエースの事業にご協力くださるのです。

7

## 集団力を極める



XXXX年 台風災害で緊急出勤

サンエースは以前ずっと、毎年お盆前になると地域のみぞざらい（溝にたまった汚泥を取り除く掃除）を自主的に行っていました。地域に役立つことを社員で行おうという精神は、昔からしみついているのです。

緊急時にも、社員が総出で出勤できる体制が整っています。気候変動の影響もあり、大型台風や豪雨に襲われることが増えました。そんなときには、お客様のお宅を1件1件まわって「大丈夫ですか!？」と声がけをし、屋根にはブルーシートを張るなど応急処置をさせていただきま

す。サンエースには団結力、機動力があります。「いつでも来てくれる」と、皆さんに安心していただけたらと思います。

6

## 熱きリーダーの存在



XXXX年 創清会 通常総会の風景

会社の組織で旗を振るのが1人であると、仕事は溜みなく、効率よく進んでいきます。とびぬけて熱く、的確な判断力を持ったリーダーの存在は、とても大切なのです。そのような人には、皆がしっかりと着いてきます。

各部署にも皆を引っ張っていくリーダーの存在は欠かせません。そのような人材を育てるのは、会社の熱き代表者の役割です。代表者が忙しいときには「代わりに○○を行かせます」と言って任せられるメンバーをつくらなければなりません。サンエースには、地域のために貢献しようという意欲あふれる人材がたくさんいます。良きリーダー、そしてリーダーを支える良き社員が次々と育ってくれることでしょう。

8

## やはり最後は人と人



お客様と対面で心を通わせる

今の世の中はデジタルの時代です。サンエースでもその技術を駆使し、ペーパーレス化やオンライン上での情報共有などを実現しています。

デジタルで便利になったことは確かですが、デジタル情報はどこへ飛んでも、誰に対しても画一的にならざるを得ません。しかし人と人の対話は違います。思いや熱量をお互いに感じ取り、その度合いによって人は心を開いていくのです。また、こうした対話を繰り返すことによって、人間力が磨かれます。

サンエースはデジタルとアナログの両輪です。しかし、最後は人と人。人が人を動かし、人が物事を、社会を動かしていくのです。

# サンエースの街づくり

サンエースはこの50年間、地域の用地開発、建造物などを数多く出がけさせていただきました。

これらはまさに、地域の皆様の暮らしやすさ、幸せを願った「街づくり」です。

## 平和堂(アルプラザ)

1995年(平成7年)に平和堂が津田に出店を決め、開発工事や地元対策、駐車場の確保をサンエースが請け負うこととなりました。開発工事に伴う道路協議は枚方市、枚方警察との交渉。駐車場の確保については地元の地権者さん、そして、津田商店街の皆さんとの交渉でした。

幸いに、皆様には好意を持って交渉に臨んでいただきました。JRの高架下を駐車場通路としてお借りするにあたっては、JRに何度も通うこととなります。

無事に開店することができ、その後の香里園店でも地元対策と開発工事を請け負うことができました。サンエースにとって、“春日”の地元企業から一歩前進することができた事業でした。



開店初日にはバルーンが上がり、お祝いムードで賑わった。

アルプラザ枚方の建設に伴い、近隣の地主様の賃貸マンションを建設。テナントにはカラオケボックスや塾なども入店し賑わった。



## 枚方市津田南土地区画整理

大阪府住宅供給公社に代わって、地権者の皆様と枚方市津田南土地区画整理組合を結成し、事業をスタートさせ、区画整理を成功させました。

大阪府住宅供給公社でもできなかった事業を引き受けた際は、「民間には無理だ」と多方面の方からアドバイスされましたが、何としてもやり遂げたいと、地権者の方を一人ひとり説得し、全員の同意を得て組合結成に至りました。

1年に及ぶ環境アセスメントや、生産緑地問題など様々な懸案事項をクリアしながら、組合認可から完成まで約6年の歳月がかかりました。



施工前の現場は、ほぼ山という状態。



山を削り、着々と開発工事が進む。



宅地完成。

## 久御山町物流センタープロジェクト

開発面積が9.3haと広く、地権者68名の同意を得るのに4年を要しました。農振農用地を宅地に転用することも困難な要件でした。現場は池を干拓した農地で地盤が軟弱であり、工事費14億円のうち、地盤改良工事だけで2.6億円の費用がかかることとなりました。

この開発工事により、地元・久御山町に固定資産税の増収と雇用の促進をもたらすこととなったのです。



施工前の久御山東口地区。



施工後。

## 賃貸物件—変遷—

初めて春日に賃貸マンションを建設させていたのは1977年(昭和52年)。船戸マンション、小篠マンションをほぼ同時に請け負いました。春日で順調に分譲地をお譲りいただき、その横地に借家を建設するという方法で、春日の街に少しずつ新しい家が立ち並ぶ中のマンション建設となりました。

その後、春日だけではなく、津田や藤阪、長尾へとマンション建設が続きます。枚方はいつの間

にか40万人都市へと成長していきました。

50年の時代の流れは、賃貸のオーナー様にとっては賃貸マンション、借家の設備も時代に合わせてどんどん変化を遂げています。最新の設備ではオートロック、非接触キー、モニター付きインターホン、宅配ボックス、空調設備完備、Wi-Fi完備など、50年前には考えることもなかった設備が標準になりました。

ほかにも、家賃保証、ネットを使用した入居申し込みなど、時代とともに賃貸業界も新しいものがどんどん導入されています。

### 1977年 船戸マンション



### 1977年 小篠マンション



### 1980年 コーポ忠栄



### 1987年 ハイツサンヒル



1988年 サンローズマンション



1989年 エステル津田



津田駅のロータリーに面した複合マンション

1991年 サンアミニティ南



1996年 アルコーブ岡本



1996年 ソレイユ川崎



2010年代はオートロックが普通に

1996年 ソレイユ川崎



2001年 ブレック津田駅前



2008年 グランドコンポート谷町



2010年 サンステージ桜丘



2013年 ルラッシュNamba



大阪市内物件

2014年 Sun.Berry



この物件を含め外大生専用のレディースマンション3棟を建築

2017年 S-CUBE長尾



新婚さん向け1LDK物件

2018年 Base桜道



ガレージハウス第1弾物件

2020年 BASE山之上



ガレージハウス第2弾

## 福祉施設

1977年（昭和52年）12月、田中診療所宅地造成及び新築工事が竣工しました。これ以来、地元での病院、診療所建設が各地域に広がっていきます。

1990年（平成2年）には、尊延寺にて特別養護老人ホームを建設。この大型工事では、施工時の高難易度の近隣住民への配慮や工事、工期の考え方などを経験し、以後、臆することなく対応していく自信となりました。

また、1999年（平成11年）の松谷病院増築工事竣工をきっかけに、老健ふじさか、くにみフィットネス、ウエルファルマ薬局、老人ホーム東月、アネックス新築（賃貸）へとつながりました。そしてさらに現在に至るまでの多くの福祉施設建設へとつながっていきました。

2001年 医療法人 松徳会  
介護老人保健施設 老健ふじさか



2003年 社会福祉法人紫水会  
介護老人保健施設 老健あおやま



2012年 パナソニックエイジフリー株式会社  
津田元町 小規模多機能住宅



2012年 社会福祉法人豊年福祉会 ホームきらら



2012年 株式会社木の葉  
デイサービスセンター 木の葉



2013年 社会福祉法人 徳風会 シリウス



2015年 天の川レディースクリニックグループ  
天の川レディースクリニック



2015年 医療法人 成育会  
なりもとレディース ホスピタル



2017年 社会福祉法人わらしべ会  
ふじさかてらす



2017年 株式会社ソーシャルケアネット  
アイローサこもれび



2017年 有限会社わたしの家すやま  
わたしの家あいあ〜る



2017年 社会福祉法人かたの福祉会  
グループホーム ミリオネー星田北



2018年 有限会社はなまる  
介護付有料老人ホーム 頂



## 準公共建物(公民館・集会所)

地域の顔ともいえる「公民館・集会所」を数多く手がけさせていただきました。地元のニーズに合わせて構造規模も多種多様です。

「公民館・集会所」の創造は、まさしく地元の皆様の夢、願いを形にする仕事。私たちにとっても、もっとも誇りに思える地元貢献です。

時代は移り行き、生活様式が変わったとしても、そこに集う人の「笑顔」は変わらない、そう願って私たちはお客様と共に歩んできました。

1981年 津田駅前集会所



2004年 若杉睦自治会 集会所



2006年 津田財産区会館



2012年 杉公民館



2017年 新之栄西地区 自治会館



2017年 尊延寺公民館



■■年 第二香里会館



会館の横にあるポリボックスのデザインが好評でした。

## 分譲地

サンエースの住宅分譲の歴史は春日元町1丁目35番（向井電器のところ）から始まりました。春日の地主様より購入した土地に「第1期春日ハイツ」という商品名をつけて売り出しました。その後、数名の地主様より土地を購入させていただき、建売販売は第2期、第3期と続きます。

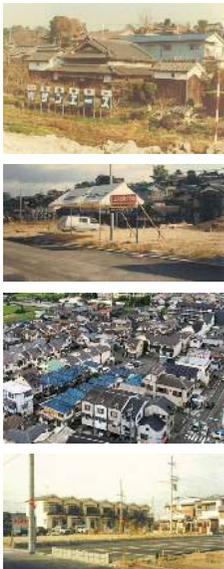
第4期の分譲をする際は分譲地と賃貸マンションの建設をしました。世間の住宅供給の波にのり第5期、第6期、第7期と第8期と続きました。津田の地主さんより津田の土地を購入することができ、津田での分譲がスタートしたのです。春日の分譲地は建売が主でしたが、津田へ進出する際は金融公庫が付く注文住宅の販売となりました。

90年代まで春日、津田を中心に枚方市養父丘、交野市私部などで分譲事業を行っていました。

2000年代に入ると、春日、津田、くみに等だけでなく京田辺市や、生駒市にも事業を拡大してきましたが、販売員の人件費や、土地の税金など分譲事業の難しさを感じ、徐々に分譲事業から、完成宅地での販売へと切り替えていきました。

完成宅地での販売へと切り替えた後も注文住宅は続けています。

東香里分譲地  
(17区画)、  
(18区画)



上空から見た津田地区。サンエースが建築した分譲地、賃貸マンション、借家が広がっています。

地主様から土地の半分を譲っていた分譲住宅に、残りは地主様所有の借家を建設しました。



野村（2003年）

春日・音（2010年）



<分譲地マンション>



2001年  
バレーヒルズ津田駅前

2004年  
ヴァレーヒルズ交野ピーアッシュ



農地の分譲も好評でした。  
4カ所で分譲しました。



農地の分譲は営業部総出で行いました。

## 公共事業

1981年（昭和56年）に初めて津田支所整備工事を入札しました。その後、本格的に入札に参加。1983年（昭和58年）頃には営業も充実し、施工スタッフもそろい、官庁入札物件も落札して建築工事、土木工事を多く施工するようになりました。自信と信頼を得ながら、時には行政や地域の方からの相談事も入るようになりました。

地元の中学校や枚方市の支所など積極的に入札に参加し、公共工事を受注。大手建設会社とのJV（共同企業体制度）を組んだ工事では、ノウハウなどを学び、技術向上につながりました。

### 1984年 地蔵池護岸改修工事



津田の農家の皆様が利用する農業用用水のため池「地蔵池」。創業すぐのころに、この護岸工事を行いました。工事前は、雨が降ると氾濫などの水害に悩まされていましたが、工事後は雨の日も安心して生活できるようになりました。

### 1995年 津田駅前広場整備工事



### 2004年 大阪府営枚方津田山手 中層住宅新築工事



### 2012年 中宮中学校南教室棟 外壁改修工事



### 2015年 津田中学校 体育館床改修及び 他1校給食受入施設 改修工事



### 2015年 東香里中学校教室棟 外壁改修他工事



### 2016年 私部会館耐震補強工事



### 2019年 津田中学校管理棟 外壁改修他工事



## 街中に広がる建設工事

創業当時の1976年（昭和51年）に日興マート春日店新築工事が竣工しました。地主様、株主様、建友会（現・創清会）様の地元でのご協力を得てのことです。この工事はサンエースの不動産、建設業の基礎となりました。

今では、商業施設や企業様の社屋建設、店舗リフォームなど街中にサンエースの建設物が広がっています。



2014年 おおさかパルコープ 枚方支所



2014年 宮田運輸 枚方第二事業所



2017年 百万遍オフィスビル新築工事



2018年 枚方藤阪郵便局



2018年 まごころ葬ここ和



2019年 東亜高級継手パブル製造株式会社  
本社社屋新築工事



2019年 コメダ珈琲店



2020年 枚方信用金庫  
長尾家具町支店新築工事



2020年 枚方スイミングスクール  
生駒校 プール増築工事



〔個人住宅 新築〕  
2019年 田中様邸



〔店舗リフォーム〕  
2014年 いわふねカフェ



2017年 まごころケアプランセンターAERO



2018年 串やでござる枚方店



2020年 グランド六甲 大規模改修工事



2020年 コンパスウォーク枚方



〔住宅リフォーム〕  
2019年 上羽様邸



## パーティ

地元でお仕事をさせていただいていると、住民の方々と会話をする機会が多くあります。

その一つとして、「ご自宅の近くに葬儀会館がなく、参列するにも葬儀をするにも、不便を感じながら遠くの葬儀場へ足を運んでいる」というお話がありました。葬儀会館は「近くにあったら助かるけれど、近すぎても困る施設」というのが世間の認識であります。

当時は大型会館が主流で、駐車場は広いが、駅から遠いというのが難点。そこでJR藤阪駅から徒歩圏内にあるサンエース本社の跡地に葬儀会館を計画しました。地域住民の方々へ説明にうかがったところ、「これからさらに葬儀が増えていく中で、他の葬儀社が地域に入ってくるよりも、サンエースに任せたほうが安心だ。何かあればすぐに言えるから」とのお言葉をいただき、着工する運びとなりました。

### \*施設名「パーティ」の由来

フランス語の「Partir」（出発する）からの造語です。お葬式場の死・悲しい・つらいという暗いイメージを払拭し、甲うことを新たな旅立ちとして、明るい雰囲気でお見送りさせていただきたい、という思いをこめています。

### \*立ち上げ時のエピソード

準備室を開設し、1年後のオープンを目指しました。時間に追われる毎日が続く中、たくさんの方々に見守られ、応援していただきました。

他部署の社員や、当時の建友会の皆さんは、仕事が終わってからオープンチラシのポスティングを手伝ってくださり、その甲斐あって、オープン時にご来場いただいたお客様は2日間で約700名。オープンイベントでは社長（現・会長）を筆頭に、社員全員がスタッフとして参加し、出入口の誘導、受付から案内、そして「一人でも多くの方に知っていただく！見ていただく！」と全力を尽くしました。協力会社様も社員も一丸となって盛り上げていただきました。この御恩はずっと忘れません。

### \*これまでの足跡

1990年代、葬儀会館は建設ラッシュを迎え、全国的に普及・拡大。自宅葬から会館葬へと葬送のあり方を変えていきました。しかし当時の葬儀会館のビジネスモデルは大型が主流で、やがて現在の葬送ニーズである中・小規模葬にマッチしないものとなり、既存会館をリニューアルして現在に至ります。2006年には、家族葬専用式場を新設しました。

2009年頃、「終活」への意識が高まり、自分の親には費用をかけても自分の葬儀には費用をかけたくないという考え方に変化し、一般葬から家族葬へと逆転し始めました。オープン以来10年の葬儀経験を活かし、次なる会館を奈良県奈良市、枚方市片鉾にオープンしました。



立ち上げ時のオープンイベントのにぎわい。



オープンイベントの後に、パーティスタッフと本社からの応援スタッフとで一緒に記念撮影。



家族葬専用式場 別館



本館



片鉾リビング1周年感謝祭。地元の皆さんとにぎわいました。



家族葬専用式場 富雄リビング(奈良市)



片鉾リビング(枚方市)

### <パーティ協和会設立>

パーティの1件のお葬式は、花屋、料理屋、車両関係など多くの取引業者の協力を得ながら施行しています。そこで、協力業者18社で2008年（平成20年）11月25日に「パーティ協和会」を設立しました（2021年3月現在20社）。全体会を年に2回開催し、研修会や情報共有を行い、葬儀に活かせるよう活動しています。

### <物故者合同慰霊祭>

葬祭式場パーティがオープンして10年が経った2011年（平成23年）11月13日に「物故者合同慰霊

祭」を開催しました。10年間にパーティで施行をしたご家族様に案内を出し、当日は100名ほどの皆様にご来場いただきました。

パーティでの第1号のご家族様に遺族代表でご挨拶をいただき、温かいお言葉にスタッフ一同感謝とともに、さらなる10年、20年に向けて励みとなりました。



お客様からいただいた手紙。



### <パルの木ネットワーク>

枚方市を中心に交野市、京田辺市、奈良市、生駒市のお店情報を発信するポータルサイトです。地域の活性化を思い描き、地域の魅力を再発見できる情報サイトを目指して立ち上げました(2015年)。

地域にあるいろいろなジャンルのお店に「協力店」として協力をいただき、パーティの無料会員制度「パル会員」の皆様にも、葬儀だけの特典ではなく、地域で暮らしに便利な特典が受けられる仕組みを新たな特典として加えました。

### <パーティの地元の皆様とともに>

パーティ各会館で地元自治会の皆様とも友好を深めています。毎朝、通学路での交通整理をしたり、時にはパーティ駐車場で防火訓練をしたりするなど自治会の会員の一員として、地元貢献をしています。



はるお  
**福島 温男**  
(専務取締役・財務担当)

創業当時から谷岡博会長は春日で仕事をしていました。春日には、会長（当時社長）が心の師と仰ぐ方がいらっしゃって、その方々のお話から、会長は会長なりにかみ砕いていろいろ考えていたようです。

建売住宅の販売第1号は、春日の地主さんの土地でした。最初は12棟。その頃は住宅を建設する前から売っていました。その後、春日での分譲はサンピアシリーズを含めて25期まで続きました。会長は地主さんの土地の半分は分譲地にし、残りの半分を地主さんがオーナーとな

る借家として建設しました。この方法は随分成功しました。春日の後は津田元町での分譲となりましたが、こちらでは建売はせず、注文住宅で売り出しました。当時、第一勧業銀行枚方支店の支援で住宅金融公庫をつけての販売となり、これがあたりました。建売から注文住宅への切替の速さで、サンエースは成功しました。会長は物事の切替が速く、度々驚かされましたが、時代を読む感覚は見事でした。

春日にしても津田にしても、地主さんとのコミュニケーションはしっかり取れていたと思いますし、常に地主さん第一で仕事をしていました。そんな中から信頼が生まれてきたのです。

これからのサンエースも、この地にいる限りは、地域の人と共にあるのが良いと思います。サンエースと言えば「よっしゃー！」と快諾してくださる方ばかりです。

私は会社設立当時から会長と仕事をしてきました。年齢は私の方が10歳上ですが、尊敬できる人です。尊敬できる人と仕事を長きにわたってできたことは幸せでした。

80歳の誕生日を社員のみなみに祝ってもらったのはうれしかったですね。祝ってもらってすぐに退社することになり、今でも申し訳なく思っています。



しげのり  
**上田 順一**  
(常務取締役・営業担当)

平成7年、平和堂様が津田に出店を決められた際、サンエースに白羽の矢が立ち、私が主に地元の方々と協議、交渉などを担当することになりました。

当時はまだ地元の酒造業者さんが営業をされていた。商店街の方々は思いのほかすぐに交渉に応じてくださいました。道路協議は枚方市、大阪府、警察、平和堂様の4者協議が行われ、枚方市の一部の方から反対の声がありましたが、当時の道路管理を担当されていた方の一歩でスムーズに事が運びました。

特に困ったことと言えば店舗の駐車場です。地元の地主さんにお願ひし、田んぼを駐車場として貸していただくことができましたが、店舗西側駐車場はJRの高架の下に道路を通すため、JRに何度も許可のお願いに通いましたが、なかなかよいお返事はいただけず、苦勞をしました。最後は根負けというかたちで、駐車場から久御山線に抜ける道が完成しました。

こうして立派な駐車場が完成しました。今でも賃料が入り続けている地主さんたちには、喜んでいただけていると思っています。店舗工事でサンエースが施工した部分は少でしたが、地元企業として看板を上げることができました。

その後、平和堂の店舗開発の課長様より、香里園店での地元対策での応援を要請され、こちらでもサンエースが関わることができました。

大変なことが多くありましたが、それまでのサンエースが成し遂げられないことができ、さらに津田から香里への進出も果たすことができ、結果として楽しい仕事となりました。

サンエースはこれからまた様々な仕事をして、枚方No.1ぐらいの地域の企業になれるでしょう。若い人には、しっかり仕事を覚えてほしいですね。必ずできると思います。



**奥坊 勝司**  
(第2営業部 部長)

谷岡博氏と私は、サンエース設立前からの知り合いで仲良くさせていただいていました。ある日、「会社を起こして、独立したで」と聞き、お願いして雇ってもらったのです。

初めは、不動産についての知識もなく、これといった仕事がありませんでした。そんなときに会長（当時社長）から、役所まわりをするように言われました。とりあえず言われたとおりに足を運ぶ毎日。会長の同級生の方もいらっしゃったので、「面倒をみてやってくれ」と頼ん

でくださっていたようです。

役所の方には、本当にいろいろと助けていただきました。ですが、一緒にお酒を呑みに行くことはありませんでした。というのも、会長から、そういったおつきあいの仕方を役所とも協力業者とするなど、厳しく言われていたからです。

会長や上田順一さんなどは、仕事が終わってから、息抜きに呑みに行っていました。当時は正月ぐらいいか休んでいませんでしたが、みんな仕事を楽しんでいたと思います。

昔は盛大なイベントもありました。毎年5月にオーナー様をご招待して、旅行をしていました。12月頃から行き先を検討し、案内状は社員で手分けをして、オーナー様に手渡しをしていました。「うちにはまだ案内状が届かない」などの苦情をいただくこともありましたね（笑）。

12月の忘年会は、オーナー様とお世話になった方々も招待していました。オーナー様と話しをするのは楽しかったですし、次の仕事にもつながっていました。

今のサンエースの社員に、私たちがしてきたことと同じことをしろとは言いません。時代が違いますから。むしろ社員同士のコミュニケーション（つきあい）を親密にしてほしいと思います。



よしのり  
**谷岡 好雄**  
(取締役・総務担当)

私が入社した当時は、雨が降れば皆休み、晴れば現場へ行く、というような状況でした。つまり就業規則などがなく、給与の決まっていない人も普通にいたのです。これは困ったなと思い、古果の商工会議所へ通い、就業規則や賃金規定を作成しましたが、社内ではなかなか認知してもらえなかったのが今では懐かしい思い出です。その後、その他の諸規則も整え、有給休暇の制度も設けました。

私は主に総務の立場で仕事をしていたのですが、谷岡博

会長（当時社長）より指示があれば、様々な仕事をしました。地主さんとかかわることも多く、会長に「サンエースの将来を考え、オーナーさんの会を立ち上げてはどうか」という提案をさせていただきました。会長から津田のあるオーナー様のところへ行き、相談するように、とアドバイスをいただき、その方の自宅に日参し、いろいろと意見交換や教えをいただき、「CHクラブ」というオーナーさんの会を立ち上げたのです。そして長村様には、CHクラブの初代会長となっていただきました。当時は、会員様70名ぐらいでスタートしましたが、現在では140名様の会になっていると聞き、うれしく思います。在職当時、CHクラブの研修見学会で、会員の皆さんとバスであちこちへ出かけ、研鑽できたことは楽しい思い出です。

また、私が在職していた期間にはパソコン利用と携帯電話の普及に社会が傾斜していきました。サンエースも仕事のやり方が少しずつ変化していく時代でした。ポケットベルから携帯電話へ。ワープロからパソコンへ。しかも1人1台必須になりました。時代に合わせて仕事も変化させていくのは大事なことだと実感しています。これからは私たちの頃とは違い、オーナーさんとのやり取りもITを使うことが多くなると思いますが、時代の先端を担いながらも、今まで以上に心の通うおつきあひもしてほしいですね。



株式会社シグマ 会長  
**池田 昭典 様**  
(建友会元会長)

サンエースさん、50周年おめでとうございます。  
私とサンエースさんとの出会いは、約50年前、守口で金属工事をしていたころです。ある工務店の下請工事で、ペラダ工事を施工した際の元請がサンエースさんでした。その後、工務店としてサンエースさんの下請工事をするようになりました。  
45年ほど前に、谷岡博会長（当時社長）の発案で、そのころ一緒に仕事をしていた工務店数社の方々と「サンエース建友会」を結成。事務所を作ろうということで、大峰の木材センターのスペースを利用し、事務所にしました。また、事務員さんも雇用しました。  
建友会の事務所では月に1度、会員の皆さんが集まり、業者間の集金や支払いをした後、サンエースさんの春日事務所に行って谷岡会長に報告をしていました。春日の溝掃除や現場の掃除などを、会員全員で行っていたのが良い思い出です。当時は若い人ばかりで、勢いがありま

した。今では、当時の会員のうちの会社は、2代目の社長さんに代わりしているところがほとんどです。

谷岡会長からは、いろいろなことを学びました。特に大切にしているのは、次の3つです。  
①地元を大切にすること（地元の方も、会長のそういうところに惚れておられました）。

②時間に正確に行動すること。集合時間の10分前には集合する（谷岡会長にお会いする時は今でも10分前にきます）。

③約束事は、必ず守る。  
谷岡会長にもっともお世話になったのは、今の会社を「シグマ」と命名いただいたことです。会社の土地も世話をしてくださいました。今でも、いろいろなことを相談できるのは会長だけです。会長には足を向けて寝ることはできません。

私たちの時代は、心で仕事をしていました。お金は後からついてくるものと思っていましたし、現実にもそのようになっていました。心から入る仕事はうまくいき、お金から入ってしまうと、なぜかうまくいかないのです。

今の時代は、私たちの時代とは感覚が違うようです。お金のことはばかりでなく、ぜひ心で仕事をしてほしいと思います。

※「サンエース建友会」は現在「サンエース創済会」と名称を変更しています。



CHクラブ第4代会長  
**奥西 正和 様**  
(津田駅前区長)

谷岡会長と私は小学校からの同級生です。会長が会社を興した時からずっと、会長の仕事ぶりを見てきました。会長が会社を興す少し前ぐらいから住宅の建設ブームにはなっていたのですが、住宅供給が遅れていました。大家族から核家族化し、また枚方に新しい方達がどんどん引越してきた時代でしたが、津田には住宅が少なく、住宅を建設しようにも住宅を建築できる大工さんの数も少ない時代でした。

そんな時代の中、会長は農地を持っている地主の方から農地を買って、半分を地主の方ご自身の家やご家族の家を当時の現代風に建設し、残りを借家として経営するという手法で、会社を軌道に乗せていきました。また、地主の皆さんもずいぶん喜んでいました。

サンエースが、昭和56年前後のころ、津田地区の2つの池の補修工を行いました。それまでは大雨から池の氾濫が起き、地区の人々を不安にさせていました。この工

事で池の堤防がしっかりとし、氾濫の不安から解放されました。

また、津田駅前地区の集会所の新築工事もこのころ施工され、大阪府や枚方市の厳しい検査もクリアされ、立派な建物になりました。当時の監督さんには毎日毎日、地元の役員の方からいろいろな要望があり、一つ一つにしっかりと対応していただきました。

サンエースにとって、この仕事は後々の自信につながり、地元とも信頼を築くことができたのではないのでしょうか。

この50年の間には大きな会社が次々に倒産をする出来事が何回もありました、オイルショックや、バルブがはじけたり、昨今では新型コロナウイルスの流行など、その時その時を会長の持ち前の「運と努力」そして、「危険なことほしない」との信念で乗り越えて来られたと思います。それはそれは見事でした。

これからどんな時代が来るか想像はできませんが、谷岡倫常社長はじめ社員の皆さんと一丸となって、次の50年を目指して頑張ってください。50周年、誠におめでとうございます。



CHクラブ第3代会長  
**船戸 彌三男 様**  
(元 春日区区长)

谷岡博会長と私との出会いはサンエースを起す少し前の昭和47年でした。会長のお兄さんが私の父のところに会長を連れて来られ「おっちゃん、弟の博です。よろしく頼むで」とあいさつされました。

私は会長のお兄さんと小学校、中学校の同級生で、学校の帰りに津田の会長の実家でよく遊んでいましたが、弟さんたちとはほとんど面識がなくしてしまいました。

春日で事業を起こした頃の会長は、春日の地主さんと根気よく接していました（今でもこの姿勢は変わらないと思います）。

我が家は昭和53年に、サンエースでマンションを建築いたしました。当時は春日の地主さんが2件ほど同じ時期に建設をしたと記憶しています。マンション経営に携わることとなったのですが、経営をしていて本当に良かったと思っています。兼業農家の我が家にとってマンション、借家の月々決まった収入はありがたいことです。

オーナーさんの集まりであるCHクラブにも設立当初より役員として参画させていただき、会長職も務めさせていただきました。家主という同じ立場の方々と、いろいろな研修を通して交流できることはありがたいことで、楽しみでもあります。

サンエースは設立50年を迎えられました。私も株主の一人としてこれからも見守っていきたくと思います。会長、社長におかれましては、組織として大きくなりましたが、健全な会社としてこれからも社員のみならず、地元の皆さんと共に発展されることを心よりお祈りいたします。



医療法人松徳会松谷病院  
理事長  
**松谷 之義 様**

創立50周年おめでとうございます。当法人も開設以来、多くの病院施設等建設に関わっていただきました。故障や水漏れなどの際には、ご連絡すればすぐに駆け付けてくださり、いつも頼りにしています。お互い長い付き合いになります。これからもどうぞよろしくお願い致します。



株式会社一の矢生花  
**澤田 公一 様**  
(バルティ協和会 平成29年～30年度会長)

バルティ様とは設立時からお付き合いを頂いており、今日までを振り返ると、昔と今の違いがよくわかります。近隣に他の葬儀会館出店が相次いできたことを期に、平成20年11月にバルティ協和会という業者会が発足し、葬祭サービスの質の向上、そして地域一番店であることを目的として新たに歩み始めました。全体会のコンテンツのひとつに研修会があります。当初は、ただ研修ビデオを観るというものでしたが、実際に身体を動かし、動きも伴う参加型や、チーム分けされたグループで意見をまとめて発表したりなど研修の形も変化していきました。初めは「こんな研修がなんの役に立つのか？」との意見も聞かれましたが、それから十数年経った今も研修は続いています。そして「何かをやらされる」から「今度は何をやるのか」に。受動から能動に変わっていった研修は、今では誰も「なんの役に立つのか？」なんて思わないものになっているように感じます。

そして研修、懇親会を回を重ねるうちに業者同士の繋がりもより一層強くなり、他業種であっても一生懸命な姿に刺激され、影響を受けたことも一度や二度ではなかったです。協和会が出来てからの十数年だけでもこれだけの変化を感じられたので、このまま気持ちを高く持ち続けられれば、この先にはより心地の良いサービスが提供できるように思います。

地域一番店は我々の心にあるだけでなく、地域に住まう人々の中にも伝えられるよう日々を過ごしていきたいと思っています。



有限会社はなまる  
代表  
**中尾 俊平 様**

「礼節」—これは、サンエース様に教えていただいた言葉です。様々な職員様と仕事をさせていただき中、一度もイヤな思いをしたことはありません。これは皆様様が「礼節」を念頭に置き、業務をされているからだと思えます。我々もたくさん見習わせていただいております。

50周年、誠におめでとうございます。

# 思い出のアルバム

## ～地元の皆様と共に、感謝をこめて～

### CHクラブの設立



設立総会 初代の会長、副会長の皆さん

オーナー様とつながる。そして、貴重なお見聞をお伺いする。そんなオーナー様の集団を作りたい。創業当時からお世話になっているオーナー様に相談をし、具体的な話が進み、CHクラブの設立となりました。クラブの発起人は5名の方にお願ひし、1995年(平成7年)2月に津田駅前にあった「やおとめ」で設立総会を行ないました。

「CHクラブ」とは「Community House(コミュニティハウス)」の略です。当初の会員数は70人ほどで、サンエースに事務局を置きました。初代の会長は設立にお世話になった長村文雄様です。

年に1度の通常総会の資料作りについては、総務畑のお仕事をされていた会員の方にアドバイスを受けながら手探りでの運営を行いました。研修会や日帰り研修旅行などの行事を通し、会員相互

の連携を図りながら、会員の皆様からサンエースにさまざまな角度からの貴重なお見聞なども頂戴しています。

また5年に1度、記念総会として1泊旅行を企画しており、会員の方も楽しみにされています。

サンエースが会員様向けに行っている『よろず相談』は、立ち上げ当初より会員の方からの様々の相談(境界のこと、相続のこと、税金のこと、賃料の未払いのことなどいろいろ)を受け、場合によっては専門家を紹介するなどして喜ばれています。

さらに、会員の方の管理物件の巡回報告も年に3回行い、管理物件の維持管理に役立てていただいています。



第10回記念総会 玉造温泉



第15回記念総会 長浜市黒壁スクエア



第20回記念総会 金沢市 兼六園



2014年の研修見学会 淡路島 風力発電所見学



2006年11月の研修研修会 ノーリツ本社見学



2010年の研修見学会 キリンビール工場見学

## 慰安旅行と忘年会



地域の皆様とのつながりを大事にしたいと考えて始めたのが、地域の皆様や業者の方々との慰安旅行です。地域のお世話になった方は、サンエースからのご招待としました。毎年5月に行い、2月頃から楽しみにしている地域の方から「今年はどこに行くの?」との問い合わせが入るほどでした。マイクロバス1台から始まり、平成10年には大型バス4台に。社員にとっても半分仕事、半分遊びといった感覚で大いに盛り上がりました。

慰安旅行の行く先々で観光をし、夕方には宴会が始まります。社員にとってはおもてなしをする大事な時間。毎回、新入社員の紹介を宴会の最後に行いました。新入社員は緊張の時間でもありました。

毎年12月の忘年会は、当初は枚方公園にあった「枚方温泉」にて、後には、地元の「魚慶」や「やおとめ」に場所を移し行いました。忘年会も地域の方のご招待とさせていただきます。

## 交野マラソン



交野マラソンの前身である赤星憲広さん主催のRing of Red「交野市チャリティーマラソン」が5年で中止となり、2年ぶりに復活した「交野マラソン」にサンエースもスポンサーとして参加させていただくことになりました。小学生のお子さんから80歳代のランナーまで、北海道や沖縄を含む29都道府県から5335名の方が参加されました。

ポスターやパンフレットにも大きくサンエースの名前が掲載され、スタート、ゴールのゲートにも大きく名前を入れていただきました。マラソン大会というイベントにスポンサーという形で地元へ貢献することができ、10名ほどの社員もランナーとして交野路を駆け抜けました。走らない社員も、沿道から声援を送りました。

また、出店ブースでフランクフルトの販売もすることに。会社のアピール、パーティのアピールも行い、ランナーの方やその家族、友人の皆さんにもサンエースを知っていただくことができたのです。

現在（2021年）、新型コロナウイルスの影響で大会は中断しているますが、再開を心待ちにしています。

## 春日のお祭り

サンエースが所属する春日自治会が毎年夏に行う夏祭りです。20数年も前から盆踊りのやぐらの組み立てをお手伝いしています。近年、やぐらに加え、音響設備のお手伝いもすることとなりました。会社に音響設備を導入し、社員の中にプロ並みの音響の実力を持つ者がいるため、このような応援も可能になったのです。また最近では、「サンエース名物 焼きそば」の出店のご要望もあり、社員の有志で出店しています。

この夏祭りは盆踊りや子供会主催の抽選会などで盛り上がり、最後は花火が打ち上げられます。楽しそうに花火を見つめる参加者の方々を見ると、地元の皆様が喜ばれる場にいられること、地元密着の会社であることはとても素敵だと改めて思います。



## さんさんまつり



地域の方との忘年会や慰安旅行が中止となつてしばらく経過したころ、会社の駐車場を会場にして始めたお祭りです。社員全員と協力会社の皆さんで、地元の皆さんに日頃の感謝をこめておもてなしをする日です。

社員の有志が実行委員となり、その年の運営を行います。また、開催のお知らせのポスティングは社員総出で行います。

今では地元の皆さんから、屋台の焼きそばは「サンエース名物」と認定されています。そのほか、フランクフルトや綿菓子といった屋台、スーパーボールすくいや射的といった遊びまで、小さなお子さんから大人の方までが一緒に楽しんでいます。

多い年には入場者数が1000名を超えるほどです。毎回、抽選会を行い、多くの方が景品を手に入れます。景品はサンエースが用意したものと、地元の銀行の方やお取引会社の方からもご提供いただいています。

さんさんまつりを行うことにより、地元以外のお祭りにも屋台の出店の要望があり、今では枚方保健所、四条畷保健所に飲食店営業の許可を得ることとなっています。



## 部署紹介

# 個性あふれるサンエースの社員たち

サンエースを構成する部署は多岐にわたっています。どれも欠かすことのできない生命線です。



### 取締役



取締役専務 **西尾 政男** 代表取締役社長  
取締役常務 **谷岡 晃行**  
取締役常務 **谷岡 倫常**

### 用地開発部



宅地開発、造成工事、土地活用、物件査定が主な業務です。地元へ密着した提案営業を通じ、宅地造成工事等、街の開発を進めています。メンバー3名は、明るく、体は大きく、心(ハート)も大きく、頼りがいがあります。これまで50年間、先輩方は多くの功績を残されてきました。私たちも負けずに、地域の首長の暮らしを豊かで幸せなものにするため、多種多様な問題を解決していきます。



### 営業部



会社全体の売上を支える部署として自覚し、目標達成の意識が高い集団です。リフォームから大型建物の案件まで、部署一丸となって取り組みます。メンバーの個性と得意分野を生かし、幅広い視点の営業を行えるのが特徴です。これからは経営理念にそって、感謝の気持ちを忘れず、お客様や協力業者の皆様と共に「サンエース第二章」を創り上げていきたいと思ひます。

### コミュニティ事業部(葬祭式場パーティ)



葬儀請負業務全般および葬儀に関する仏具の紹介・販売を行っています。老若男女混合メンバーで学び、補い合うことで一致団結。常にお客様第一でご遺族様に寄り添い、「アットホームな感じでよかった」とのお声をいただきます。多様化するニーズに挑戦しつつ、地域の慣習やしきたりなどのアドバイスも含めた適切な葬儀葬送の提案を行い、「最期、バルティでよかった」と思っただけのよう努めています。

### 建設部



個々が資格取得でスキルアップをするなど、常に向上心を持っています。他部署とも円滑に連携しフォローできるのも強みです。今後は、昨今の一般建設業に対する安全意識の高さに応えるため、安全衛生管理体制の確立にも取り組んでいきます。50周年を迎えられたのは先人の方々が築き上げてこられた功績の賜物に他なりません。今後もサンエースが飛躍し続けるために、「礼節」を大切に、日々精進して参ります。

### 管理部 賃貸営業課 賃貸管理課



私たちの主な業務は、賃貸物件管理(24時間管理)、不動産仲介、退去リフォーム、マンション大規模改修工事、土地活用、物件メンテナンス、新規管理営業、巡回業務、駐車場管理、コインランドリー、コインパーキング運営と本当に様々です。これらに対してネットワークを駆使し、迅速対応することができます。親切、丁寧、地域密着、真心と愛情をもってお客様に接することで、枚方1番の管理会社になることを目標としています。

### 総務部



原価管理を行い、回収率のアップ等によって会社全体の売上を支え、緑の下の力持ちのような部署です。順応性のあるメンバーが多く、様々な部署から情報収集し、新しい事をどんどん取り入れています。情報集約・ペーパーレス化をさらに進め、必要な情報をすぐに確認できるシステムの構築が目標です。原価管理や早期回収を意識し、他部署との情報共有を密にすることで、さらにサンエースの利益を伸ばしたいと考えています。

### 企画部



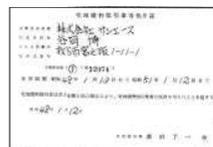
企画部の業務は、①各部門の問題解決の助言サポート、②各種助成金、節税対策の調査、申請業務、③外部セミナー講習など人材育成のサポート、④不動産情報、管理営業情報の収集、⑤総務部、経理課のサポート、⑥管理部の事務処理等の管理サポート、⑦防災防の常任幹事、⑧社長、会長指示による業務代行などです。50周年を迎え、さらに地域に役立ち、社員が働きがいのある中小企業として発展していくことを祈念します。企画部では社内環境の整備と節税効果等による利益確保に協力しながらも貢献します。

# 年表

■色の項目は下記に写真を表記しています。

西暦	和暦	株式会社サンエースの動き	枚方市及び東部の変遷
1970	S45		山村富造市長（S42/5～S50/8）
1971	S46		津田支所新装開設
1972	S47	㈱サンエース設立、宮之阪、サンエースレンタカー（7月）	京阪くずはモール街開業
1973	S48	土木工事業・宅地建物取引業の免許取得、業務開始（1月）	
1974	S49	建友会設立	王仁公園市営プール開設
1975	S50	損害保険業務開始（2月）	ひらかたサンプラザビル完成
1976	S51	■木材センター設置、木材・建材の販売開始（3月）	北牧一雄市長（S50/8～H3/8） 枚方市人口30万人を超える くらわんか花火大会開催（8月）（H15/8まで） 枚野ヤングプラザプール開業（2021年現在P店）
1977	S52	■建築業の免許取得、賃貸住宅・マンションの請負工事本格化（5月） ■賃貸業務および管理業務開始（7月）	
1978	S53	■管工事・舗装工事の免許取得（1月） ■㈱サンエース本社移転、津田(北町)新社屋完成（3月）	
1979	S54	■木材センター及びサンエース開発分離独立新会社設立	国鉄片町線藤阪駅新設（4月） 津田駅舎新装、自動改札機設置（10月）
1980	S55	■レンタ・リース部門分離独立、京阪電車置石脱線事故（2月20日）	枚方警察署移転開設、神戸ポートピア81
1981	S56	■谷岡倫常（現社長）誕生（11月）	
1982	S57	■京都営業所開設、織喜郡田辺町（4月）、宅地建物取引業者免許取得	
1983	S58		総合体育館開館
1984	S59		関西外国語大学総合学舎開校
1985	S60	■リフォーム事業を本格化（7月）	ピアホールFEST開業（現在関西スーパー）
1986	S61		
1987	S62	■資産活用事業を本格化（5月）	
1988	S63	■建設業許可取得	「学研都市線」の愛称使用開始（3月）、津田駅前ロータリー完成
1989	H1		エステル津田完成（11月）
1990	H2		岡本町再開発ビル「ピオネル」完成
1991	H3		ひらかた温泉終了 大塚和男市長（H3/8～H7/4）
1992	H4	■春日事務所建替え（1月）	
1993	H5		枚方市駅高架化完成
1994	H6	■CADシステム導入、プレカット工法の段階的導入実施、 ■分譲マンション「サンブラーサ津田駅前」販売開始	
1995	H7	■CHクラブ設立（11月）	枚方市人口40万人を超える、中司宏市長（H4/4～H19/9）
1996	H8	■プレカット工法完全実施達成、管理者養成学校へ第1期生派遣（10月）、 ■アルプラザ枚方開店（9月）	なみや国体 JR東西線開通
1997	H9	■青友会設立、春日事務所増設、損害保険上級代理店に昇格、 ■インターネットH.P.開設 Eメール運用	
1998	H10	■緊急電話受付対応システム運用開始（24時間、365日受付サービス）	

西暦	和暦	株式会社サンエースの動き	枚方市及び東部の変遷
1999	H11	■資本金9,750万円に増資（地主様の支援に感謝）	三越枚方店閉店
2000	H12	■分譲マンション「パレールヒルズ津田駅前」販売開始	近鉄枚方店閉店
2001	H13	■春日元町に本社移転（4月） ■葬祭式場「パルティ」事業開催（11月）	津田サイエンスヒルズへ企業誘致、 関西スーパー倉治店開店
2002	H14	■介護福祉事業検討開始	スーパー万代倉治店開店
2003	H15	■介護付有料老人ホーム「あおい」建設着工 ■分譲マンション「ヴァレヒルズ交野ビークラス」販売開始	第二京阪道路部分開通 枚方東IC使用開始
2004	H16		
2005	H17	■「KUZUHAMALL」新装開業、ひらかた大病人形展閉幕、 ■藤阪駅前複合店舗開店、車塚「輝きプラザきらら」「中央図書館」開館	
2006	H18	■パルティ別館 家族葬ホールオープン（6月）	津田サイエンスヒルズオープン 関西医科大学附属病院開院
2007	H19	■ジャープネット加入	津田財産区連合会館完成（7月） 竹内脩市長（H19/9～H27/9）
			H19/9～H27/9、竹内脩市長
2008	H20	■パルティ協和会発足（11月）	新火葬場「やすらぎの杜」開設 東部清掃工場新設
2009	H21	■月極駐車場インターネット検索システム導入、自社建売事業中止、 ■枚方市津田南土地区画整理組合事業認可	
2010	H22	■京都営業所移転、京田辺市新水取（4月）、 ■サンウォッシュ京田辺店開店（4月）	第二京阪道路全線開通
2011	H23	■サンエース創清会設立、サンウォッシュ津田駅前店業務継承、 ■賃貸管理物件数4,500物件達成、津田西TNビル新築完成	
2012	H24	■パルティ宮雄リビングオープン	くみ坂宅地造成
2013	H25	■株式会社サンエース木材センターを吸収合併 ■枚野駅前TNビル新築完成	関西医科大学が守口市から移転
2014	H26	■パルティ片鉾リビングオープン	枚方市民病院新築開設
2015	H27	■谷岡倫常 代表取締役社長に就任（二人代表制） ■賃貸管理物件数5,000物件達成 ■中宮東マンション（サンベリー）新築完成	伏見隆市長（H27/9～） ひらかた東部スタジアム開設
2016	H28	■賃貸管理物件数5,100物件達成 ■倉治5丁目マンション（サンヴァンセ）新築完成 ■枚方市津田南土地区画整理組合解散	ニトリモール枚方開業（4月） 枚方T-SITE開業
2017	H29	■中宮西之町マンション（サンリブレ）新築完成	枚方市市制施行70周年（11月）
2018	H30	■谷岡倫常 代表取締役、谷岡博 取締役役に（5月） ■メディカルテラスかたの開業（6月） ■山之上サ高住「頂」新築完成（7月） ■サンウォッシュ大和田店、サンウォッシュ杉店オープン ■賃貸管理物件数5,500物件達成 ■健康経営優良法人（中小規模法人部門）認定	大阪北部地震震度6弱（6月18日） 大阪全域台風21号大被害（関西水没）（9月） 交野警察署新築設置（11月）
2019	R1	■賃貸管理物件数5,700物件達成 ■久御山町物流センターPJ完成	
2020	R2	■サンウォッシュ外大前店、サンウォッシュ中宮山戸店オープン ■サンウォッシュ津田駅前店リニューアルオープン	
2021	R3	■創業50周年	



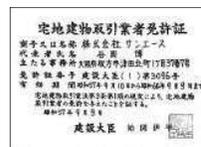
1973年  
宅地建物取引業免許証



1976年  
木材センター



1978年  
本社移転



1982年  
宅建業免許証



1988年  
建設業許可



1996年  
管理者養成学校



2010年  
サンウォッシュ京田辺店



2017年  
津田南区画整理組合



2018年  
かたの福祉会

# しなやかな太い軸をもって



代表取締役社長  
谷岡倫常

50周年という記念すべき年に立ち会えたことを、大変光栄に感じております。創業からこれまで支えてくださった皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

当社は「地域密着」を太い軸として歩んでまいりました。この軸は、将来においても決して変わることはありません。

ただ、時代や社会はどんどんと移り変わり、当社や地域を取り巻く情勢も同じではなくなるでしょう。そのような中でも地域の皆様と共に、しなやかに、強く存在する会社であるよう、力を注いでいく所存です。

実際にこれまでも、しなやかさと強さをそなえていたからこそこの50年間でありました。今の時代、次の時代をしっかりと見つめ、太い軸に新たな筋力をつけることができるよう、精進してまいります。

これからも地域密着企業である私達サンエースにご期待下さいますよう、お願い申し上げます。